
遭

walkmachine

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
遭

【Nコード】
N2312L

【作者名】
walkmachine

【あらすじ】
転載シリーズ、最後。
超短編。

ホラー調？
これは自信を持って言えます。
回覧注意。

変な眼をした人。

青い目をした人がいた。

ドイツ人だった。

変な眼って言ったら怒られた。

日本語分かる人だったみたい。

謝った。

変な眼をした人。

黒い眼をした人がいた。

日本人だった。

変な眼って言ったら不思議そうな眼で見られた。

君も同じ目じゃないかって言われた。

適当に流した。

変な眼をした人。

濁った眼をした人がいた。

驚かれた。

変な眼って言ったら逃げられた。

近くて配ってた号外にさっきの人が大きく載ってた。

ふーんって思った。

変な眼をした人。

さっきの人と同じ目をした人がいた。

鏡だった。

変な眼って言ったら変な眼って言われた。

さっきの人が後ろにいて、首筋にナイフをあてていた。
意識が飛んだ。

へんなめをしたひと。

まわりのひとがみんなあかいめをしている。

どいつじんもにほんじんもあかいめをしていた。

へんなめっていったらしゃべったぞっていわれた。

さっきのひとがはしっていくのがみえた。

にごったあかいめがみえた。

つまりそういうことなのでしょう。

変な眼をした人がいた。

濁った眼をした人だった。

殺されかけた。

変な眼つて言ったら殺されかけた。

そのせいで僕は病院にいる。

変な眼つて言わないようにしようと思った。

「ああ、意識が戻ったんですね！」

きれいな眼をした人。

輝く目をもった人だった。

白衣を着ていた。

「眼、きれいですね」

「そうですか？」

照れられた。

「この間は変な眼つて言っていましたよね？」

バレタ。

「あはは」

誰か来て。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2312/>

遭

2011年1月16日03時39分発行